

# 出水期を前に備え

## 積み土のう、避難所受付システム体験

### 中大塩で水防・土砂災害訓練

#### 茅野市

茅野市は7日、水防・土砂災害訓練を同市の中大塩グラウンドで開いた。中大塩地区の住民をはじめ市職員、消防団員、諏訪広域消防茅野消防員、茅野署員ら約150人が参加。積み土のうや避難所受付システムの訓練などの手順を確認し、いつ発生するか分からない災害に備えた。

(小尾口有)



出水期を前に、市内各地区の持ち回りで毎年実施している。参加者は土のう作りや積み土のうの工法を体験し、さらに積み土のうの工法を改良した工法も実践した。改良工法では氾濫した水の侵入を防ぐため、河川に見立てた場所にシートを張ってくいで固定し、その後方に土のうを積み作業を協力して行った。

市が導入を検討している避難所受付システムの訓練では、地元住民がスマートフォンでQRコードを読み取り、氏名や住所など避難者情報を入力して送信する体験をした。市はリアルタイムでどの避難所

に何人が避難してきたかが把握可能とし、紙の避難者カードと併用することで避難所の受け付けをスムーズにできればと説明した。

災害時に使う簡易トイレや多機能車についての説明もあった。地元住民は熱心に訓練に取り組み、担当者の話に耳を傾けた。中大塩地区の北澤淳区長会長は「災害を身近に感じてもらい、いざというときにどう動くか考えるきっかけにしてもらえれば」と話した。

## 趣向凝らし名曲の数々

#### 高陵清で岡谷吹奏楽部演奏



感謝の気持ちを込めて演奏する諏訪清陵高校の吹奏楽部＝岡谷市のカノラホール

諏訪清陵高校吹奏楽部は7日、演奏会を岡谷市のカノラホールに向けてきた吹奏楽曲「愛される空」を凝らしたスチンドロを沸かせた。定演のテーマ「ちを結ぶ音」に継いだ音楽を次々と心に、心で聴く人への思いを構成で9曲を届けた。2曲は同吹奏楽部との合奏、清陵の音楽科の中学生と共演した。歌と音色を

## 阿弥陀岳山頂で

### 夏山の安全祈願

一般社団法人原村観光局は7日、八ヶ岳の阿弥陀岳山頂

原村観光局が八ヶ岳開山祭

行い、夏山シーズンを前に登山者の安全を祈願した。

たこみを拾いながら、御小屋屋根を経て約4時間かけて登頂した。標高が上がるにつれ、イワカガミやミヤマキンバイなどの花が咲き始めていた。開山祭では神事に続いて山岳遭難事故者に献花し黙とう

人が増えるのと、県内の山岳多くなって、安全な登山を心掛けて、楽しい思い

# 茅野市「健康づくりポイント事業」

# 「マイレージ」アプリ きょうから運用開始

## 「ミッション」挑戦などでポイントクーポンと交換



茅野市は、市民の健康づくりの環として2017年から取り組む「健康づくりポイント事業」で、スマートフォン用アプリ「けんこうマイレージ」の運用を1日からスタートする。20歳以上の市民が対象で、ダウンロードは無料。ウォーキングや血圧、体重の入力、毎週届く健康ミッションへの挑戦などをポイント化し、一定以上ためると飲食店やコンビニなどで使えるデジタルクーポンと交換できる仕組み。市民が楽しみながら健康づくりに取り組める。

(平岡大輝)

### 幅広い層に健康への関心を

市健康づくり推進課によると、これまでは応募用紙とポイントシールを用いて行ってきたが、若い世代の参加者の伸び悩みが課題だったという。アプリ版を追加することで、市内の幅広い層の健康への関心を高め、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸につなげたいと考えた。

ポイント項目はほかにも毎日の初回起動ボーナスや市内

健康づくり講座への参加などさまざま。市運動公園や縄文尖石風除けの松散策路など市内6カ所にウォーキングコースを設け、スタートからゴールまでチェックポイントを通りながら歩くコースと週1回ポイントが獲得できる。マイナンバーカードとの連携も可能で、健診データなどが反映される。

### 市役所で15日

### 登録サポーターも

今年度のポイント累計期間は4月1日～来年2月28日、デジタルクーポンの引換期間は同3月15日まで。同課の井出貴之健康総務係長は



茅野市民を対象に1日からスタートするアプリ「けんこうマイレージ」をPRする市職員



ご購読あり  
発行  
〒392-8611

木材檜  
(株)山  
本社  
山梨営業所北



ニュー  
30回目

「2026」  
が29日に開  
し、岡谷市



下諏訪観光  
案内所所長  
JR下諏  
光案内所  
たり所長を  
(76)が31日

12 13 地  
3 県内株  
8 男女雇  
8 市況・  
11 ラジオ

紙面



専用機器にスマホをかざ

## 下諏訪町循環バス「あざみろ きょうからキャッシュレス決

下諏訪町は1日から、町循環バス「あざみろ」にキャッシュレス決済を導入する。スマートフォンに専用アプリ「Ticket (チケット)」をダウンロードすると、スマホ上で運賃を支払うことができる。導入に向けて30日には宮坂徹町長があざみろに搭載された機器にスマホをかざし、決済する仕組みを説明した。決済方法は、QRコードを乗降車時にバスの読み取り装置に読み取らせ、専用機器にスマホをかざして決済する仕組み。

「市民の皆さんが楽しみながらログインを継続させ、健康につながるきっかけ」と期待し、積極的な利用を呼び掛けている。アプリはQRコードからダウンロードできる。市はアプリのインストール設定を補助する「登録の会」を15日午前11時に市役所1階ロビーで開く。予約不要。問い合わせは同課(電話0266-01015)へ。

事業を取り組む。

7時時点で注意可(産)てハ

古誓の別更生を高める。5月